



2026年度

履修証明プログラム募集要項 - 織物マイスター -

帝 塚 山 大 学

総務課 公開講座係 (平日: 9:00~17:00)

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

TEL 0742-48-9122

FAX 0742-48-9135



1.履修証明プログラムとは？

(1) 履修証明プログラムとは？

履修証明プログラムは、学校教育法第105条に基づき大学が社会人等を対象として開設する「体系的な知識・技術を修得するための教育プログラム」です。総授業時間数が60時間以上（本学プログラムは、より深い学びを提供するため、年間120時間以上のカリキュラムを編成しています）かつ大学の定める修了要件を満たした方には、履修証明書を発行します。現在、政府全体で検討・推進している「ジョブ・カード制度」においても、「職業能力証明書（ジョブ・カード・コア）」として位置付けられており、履歴書に記載することができます。

※学位が授与されるものではありません。

(2) 履修証明プログラム（織物マイスター）について

本学は「社会に有為な人材を育成する」という建学の精神のもと、広い国際的視野と日本人としての深い自覚、そして高い識見を持ち、社会の要請に応え得る教養と創造力を備えた人材の育成を目指して教育活動を展開しています。こうした理念を社会人教育の場において具現化したものが、本学の推進する「奈良学」の取組の一つである履修証明プログラム「帝塚山大学 織物マイスター」です。

本プログラムの最大の特徴は、学術的な理論と伝統的な実践を高度に融合させている点にあります。学内には全国の大学でも類を見ない約50機もの織機を所蔵しており、奈良の伝統織機である「大和機（やまとばた）」や、伝統産業を象徴する高級麻織物「奈良晒（ならざらし）」に関する長年の研究成果がカリキュラムの基盤となっています。本講座では、織の技能習得に留まらず、その歴史や文化についても学術的な視点から深く掘り下げることで、伝統産業を通じた地域の活性化に寄与できる人材を育成します。

学修体系においては、織物の歴史・文化・技能を幅広く網羅するだけでなく、受講生一人ひとりの興味関心に基づいた素材活用や、最終目標である独自作品の制作を重視しています。そのため、基礎から応用までを段階的に積み上げられるよう、学修レベルに応じて複数のコースに分け、着実な技術向上と知識の深化を両立させる構成を整えています。

2. プログラムの方針（ポリシー）

(1) 受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本プログラムは、本学の「奈良学」研究の成果を社会に還元し、伝統文化の継承に寄与することを目的としています。そのため、以下のような方の受入れを基本方針とします。

- 奈良の伝統文化、特に「奈良晒」や大和機を用いた織物技術の習得に強い意欲を持つ方。
- 体系的な学修を通じて、伝統工芸の技能を自己の教養や社会活動に活かしたいと考える方。
- （研究編の場合）基礎的な織物技術を習得済みであり、より高度な表現や創作研究に取り組む意欲のある方。

(2) 学びの内容、学習方法の実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

伝統的な織物技術を初心者から専門的な創作活動を目指す者まで、段階を追って確実に習得できるように、以下の通り教育課程を編成します。

- 初級・中級: 道具の扱い、糸作り、基本的な機織りの構造など、織物の基礎理論と実践的な技能を重点的に教授します。
- 研究編（Ⅰ～Ⅴ）: 単なる技術習得に留まらず、年度ごとに設定された高度な技法（紋織り、特殊な素材活用等）を用い、自らの構想に基づいた作品制作を行う応用的なカリキュラムを展開します。
- 指導体制: 専門的な知見を持つ講師による実技指導を中心に、理論講義を適切に組み合わせ、伝統技術の背景にある歴史的・文化的理解も深めます。

(3) 履修証明の方針（ディプロマ・ポリシー）

本プログラムに定める所定の期間在学し、以下の要件を満たした者に対して、学校教育法第105条に基づく履修証明書を交付します。

- 各コースで定められた総学修時間（通年120時間以上等）のうち、規定以上の時間の学修を終えていること。
- 各年度のシラバスに定められた課題（制作物）を完成させ、技術習得状況が一定の基準に達していると認められること。
- 伝統技術に対する理解を深め、当該技術を継承・活用していくための基礎的または専門的な能力を身につけていること。

3. 募集概要

(1) 申込資格

本プログラムの受講資格は、以下の条件をすべて満たしている者としてします。

全コース共通

本学所定の授業日程にすべて参加可能な方

初級編

特になし

中級編

本学履修証明プログラム（初級編）を修了していること

※旧履修証明プログラム「織物マイスター（初級編Ⅰ）および（初級編Ⅱ）」を修了された方も受講可能です。

研究編Ⅰ

本学履修証明プログラム（中級編）を修了していること

※旧履修証明プログラム「織物マイスター（応用編A）および（応用編B）」を修了された方も受講可能です。

研究編Ⅱ

本学履修証明プログラム（研究編Ⅰ）を修了していること

※旧履修証明プログラム「織物マイスター（研究編A）および（研究編B）」を修了された方も受講可能です。

(2) 募集人数

各クラス8名程度とします。

※最低実施人数に満たない場合は、不開講とする場合がありますので、予めご了承ください。

※受講希望者多数の場合は、抽選にて受講者を制限させていただく場合があります。

(3) 実施場所

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

帝塚山大学 東生駒キャンパス 5203教室 他

※会場には公共交通機関を利用してお越しください。自動車での入構は認めておりません。

(4) プログラム構成

○ 初級編

到達目標		
<p>本講座は、機織り初心者を対象としており、様々な実習を通して、織物の基本原理を理解することを旨とする。また、実習だけでなく、織りの仕組みや歴史、世界の文明・文化史など様々なテーマの講義により、織りの面白さ、奥深さを広く学びます。</p> <p>具体的には、平織、綾織、腰機、綴織、ノッティングに取り組み、様々な技法を習得するだけでなく、美しく織り進める技術を向上させます。また、木綿の手紡ぎと苧麻の手績みを体験し、自作の糸を緯糸に使って織ることで、作品作りにおける素材の重要性とおもしろさについて学びます。</p>		
修了要件		
<p>本コースの講義・実習を所定の学修時間（126時間）を満たし、かつ、ディプロマ・ポリシーに基づき講義内で課された課題（制作物）が一定の基準に達していること。</p> <p>修了者には履修証明書として「帝塚山大学 織物マイスター（初級）」の認定を行います。</p>		
講師		
植村 和代（帝塚山大学名誉教授）、岡本 由実子		
指導内容	学修概要	時間数
実習	平織	24.0時間
	綾織	19.5時間
	腰機① 腰当	6.0時間
	腰機② 小作品	9.0時間
	綴織	23.5時間
	ノッティング	21.0時間
	木綿の手紡ぎ	7.5時間
	苧麻の手績み	4.5時間
	手紡ぎ・手績み糸を使った平織	3.0時間
講義	織物の発明／織機のしくみ	1.5時間
	織物の歴史／織物技法	1.5時間
	西アジアと東アジアの織物文化（比較）	1.5時間
	腰機の歴史	1.5時間
その他	オリエンテーション	1.5時間
	修了式と合評会	0.5時間
合計学修時間		126.0時間

○ 中級編

講座概要・到達目標		
<p>初級編で得た知識・技術の復習として、授業前半は腰機（ウールマフラーと自由課題）に取り組み、織りの基本について理解を深め、技術の向上を目指します。また、組織織りの一つで緯吉野織に取り組み、組織図についての理解を深め、さらに、スプリングの技法を学び、もじり織りについての理解の一助とします。</p> <p>授業後半には、今までに得た知識・技術の集大成として、平織の縞織物（7m）と腰機（自由課題）に取り組みます。特に縞織物では、デザイン、経糸の準備から織り上げまで、一人でできるようになることを目標とするとともに、材料学講義と生糸・真綿作りの実習を通して、素材についての知識を深めます。</p>		
修了要件		
<p>本コースの講義・実習を所定の学修時間（130時間）を満たし、かつ、ディプロマ・ポリシーに基づき講義内で課された課題（制作物）が一定の基準に達していること。</p> <p>修了者には履修証明書として「帝塚山大学 織物マイスター（中級）」の認定を行います。</p>		
講師		
植村 和代（帝塚山大学名誉教授）、岡本 由実子、澤田 絹子		
指導内容	学修概要	時間数
実習	腰機③ウールマフラー	13.5時間
	腰機④自由課題	16.5時間
	緯吉野織	25.0時間
	スプリング	8.5時間
	平織・縞織物（整経長7m）	50.5時間
	腰機⑤自由課題（製織は自習）	4.5時間
	生糸・真綿作り	3.5時間
講義	奈良晒と大和機	1.5時間
	アマゾン文明と縄文文化	1.5時間
	材料学	4.0時間
その他	修了式・合評会	1.0時間
合計学修時間		130.0時間

○ 研究編 I

講座概要・到達目標		
<p>初級編および中級編までの2年間で織物の基本原理を理解し、基本的な技術を身につけた方を対象とします。</p> <p>主たる実習は自由制作が基本です。帯地またはその大きさに準じる作品を、デザインから織りあげ迄全てご自身で取り組んでいただきます。</p> <p>また、大和機についての学修を通じてその特性を理解します。織物技法の理解を深めるため、共通課題も設けます。(例:二重経 四方耳等)</p>		
修了要件		
<p>本コースの授業所定の学修時間(130時間)を満たし、かつ、ディプロマ・ポリシーに基づき講義内で課された課題(制作物)が一定の基準に達していること。</p> <p>修了者には履修証明書として「帝塚山大学 織物マイスター(研究I)」の認定を行います。</p>		
講師		
澤田 絹子		
指導内容	学修概要	時間数
実習	デザイン、糸の選出、作品試作	20.0時間
	経糸の準備、織機を選択	30.0時間
	緯糸の準備、織り作業	70.0時間
	大和機について理解を深める	5.0時間
	共通課題制作	5.0時間
	糸の準備、作品の織り作業	18.0時間
合計学修時間		130.0時間

○ 研究編Ⅱ

講座概要・到達目標		
<p>本講座は研究編Ⅰを修了された方を対象にしたプログラムです。</p> <p>主たる実習は自由制作が基本です。90cm×200cmのタペストリー等その大きさに準じる作品を、デザインから織りあげ迄全てご自身で取り組んでいただきます。</p> <p>また、大和機について学び、その特性を徐々に理解します。織物技法の理解を深めるため、共通課題を設けます。(例 二重経、保田織等)</p>		
修了要件		
<p>本コースの授業を所定の学修時間（130時間）を満たし、かつ、ディプロマ・ポリシーに基づき講義内で課された課題（制作物）が一定の基準に達していること。</p> <p>修了者には履修証明書として「帝塚山大学 織物マイスター（研究Ⅱ）」の認定を行います。</p>		
講師		
澤田 絹子		
指導内容	学修概要	時間数
実習	デザイン、糸の選出、作品試作	15.0時間
	経糸の準備、織機を選択	20.0時間
	緯糸の準備、織り作業	85.0時間
	大和機について理解を深める	5.0時間
	共通課題制作	5.0時間
合計学修時間		130.0時間

(5) 2026年度の開講予定

初級編	2026年5月8日（金）～2027年2月12日（金）
中級編	2026年5月12日（火）～2027年2月9日（火）
研究編Ⅰ（月曜日クラス）	2026年5月11日（月）～2027年3月1日（月）
研究編Ⅰ（水曜日クラス）	2026年5月13日（水）～2027年2月24日（水）
研究編Ⅱ（月曜日クラス）	2026年5月11日（月）～2027年3月1日（月）
研究編Ⅱ（水曜日クラス）	2026年5月13日（水）～2027年2月24日（水）

- ※ 大学行事との兼ね合いから、開講スケジュールが変更となる場合があります。
- ※ 初回オリエンテーション時に詳細なスケジュールを配付します。
- ※ 研究編Ⅰ・Ⅱについては、それぞれ2クラス開講する予定です。どちらのクラスで受講いただくかについては、申込後に講師と調整の上で決定させていただきます。

(6) 授業時間

初級編	10：00～15：30（休憩1時間含む）	全28回
（1限目：10：00～11：30、2限目：12：20～13：50、3限目14：00～15：30）		
中級編	10：00～16：00（休憩1時間含む）	全26回
（1限目：10：00～11：30、2限目：12：20～13：50、3限目14：00～16：00）		
研究編Ⅰ	10：00～16：00（休憩1時間含む）	全26回
（1限目：10：00～11：30、2限目：12：20～13：50、3限目14：00～16：00）		
研究編Ⅱ	10：00～16：00（休憩1時間含む）	全26回
（1限目：10：00～11：30、2限目：12：20～13：50、3限目14：00～16：00）		

- ※ 研究編Ⅰ・研究編Ⅱの授業時間は、月曜日クラス・水曜日クラス共に同じです。

(7) 申込手続きについて

問 合 せ 先	帝塚山大学 総務課 公開講座係 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL : 0742-48-9122 (平日9:00~17:00) FAX : 0742-48-9135 Mail: shomu@jimu.tezukayama-u.ac.jp
申 込 期 間	2026年3月7日(土)~2026年3月31日(火)(当日消印有効)
提 出 書 類	● 受講志願書
提 出 方 法	受講志願書に必要事項をご記入の上、上記問い合わせ先宛に「郵送・FAX・メール」のいずれかの方法で提出してください。 メールで提出される場合は、件名を必ず「織物講座・受講志願書」としてください。受講の可否については、開講案内の送付を以ってこれに替えさせていただきます。
受 講 料	初級編 : 180,000円 (材料費含む) 中級編 : 180,000円 (材料費含む) 研究編Ⅰ : 180,000円 (材料費 <u>除く</u>) ※材料費は別途徴収します。 研究編Ⅱ : 180,000円 (材料費 <u>除く</u>) ※材料費は別途徴収します。 ※受講料の振込用紙は、開講案内に同封しますので、期限までにお支払いをお願いします。

(8) 注意事項・補足事項など

- 受講期間中に個人の都合により受講を取り止められた際は、納入済みの受講料の返金はできかねますので、予めご了承ください。
- 体調不良等により、授業を欠席される場合は必ず担当講師へご連絡ください。補講を実施するなど、授業時間数の補填を行います。
- 本履修証明プログラムの受講者の方には、本学図書館の利用許可証を発行いたしますので、適宜ご活用ください。